

三重県平和大行進ニュース 第4号

2014年6月12日(木)

2014年原水爆禁止世界大会平和大行進三重県実行委員会

〈伊勢→松阪の行進〉伊勢・向井慶和さんの報告

- やや蒸し暑い薄曇りの10日(火)、平和行進は伊勢市役所前で出発集会をもつ。87人の参加者で昨年を上回る。集会は「緑と海の合唱団」の歌ではじまり、池田実伊勢地区実行委員長が「地球上から核廃絶を！」と開会挨拶。続いて鈴木健一伊勢市長、世古口新吾議長からの激励挨拶(代読)はじめ、伊勢医療生協の青年古賀さん、4人の通し行進者がそれぞれ決意をのべ、参加者を励ました。
- 伊勢→松阪は県内の最長区間。約50人で市役所を出発、宮川を渡ったところの「コープみやがわ」で休憩。冷茶・アイス・お菓子の接待を受ける。ありがとうございました！お昼過ぎ、近鉄明星駅前で中井幸充明和町長、北岡泰同議長が出迎えられ、挨拶を受ける。「集団的自衛権」の話も出る。昼食休憩ののち、行進団はひたすら松阪へ南下。4時40分、三角公園で松阪のみなさんが出迎え。その後も松阪駅まで合同で歩き、5時すぎ散会しました。熱中症の人も出ず、みんな自分の体力・体調に合わせて歩きました。全26kmを完歩した人は10人はいたでしょう。若い人たちが目立つ。
- 出発集会に中日と朝日が取材に来、11日付中日・朝日に記事が載る(ニュース3号の「紀南新報」は誤りで正しくは「紀南新聞」。失礼)
- 伊勢→松阪を歩き通した竹内隆さん(明和町)は千葉県幕張で開催された日本平和委員会総会(7日～9日)に参加し、帰ってきたばかり。竹内さんによると総会参加者は297名にのぼり、女性参加者の24.6%とともにここ10年で最も多い数字だったとのこと。「集団的自衛権容認をゆるすな」の全国の熱い想いが結集したようです。平和新聞の部数は3年連続で増加(会員は微減)。

松阪・橋本進さんの報告

- 三角公園でおおよそ30人の伊勢からの行進団を出迎え。松阪も約30人(人権連・新婦人・年金者組合・民商・共産党ほか)。5時すぎ、みな無事に松阪駅前に到着しました。自治体訪問をはさみ、行進は14日再開します。

〈落合さんの鳥羽市、志摩市への訪問記〉

- 9時すぎ鳥羽に着くと雨。市議会は12日からの質問を前にして休会中。戸上健議員の案内で志摩原水協の中井さん、樋口さん夫妻と市長室に入り、木田久主一市長、野村保夫議長と懇談しました。
- 「憲法を解釈で変えられるんやったら憲法はいらんことになる」、「憎しみをかき立てて、戦争になったら後悔せんならん」など集団的自衛権に言及。議長も「戦争をしつとる人がおらんようになってきたけれど、ちゃんと伝えていかな」と、平和運動の大切さを強調。最後に、市長が起立していいいにメッセージを読み上げてくれました。協賛金もお二人からいただきました。
- 続いて志摩市へ。ここでは坂口洋議員が待っていて、天白さん、稲葉さんも加わった6人で応接室へ。ここ何年か議会開催中のため会えなかった大口秀和市長と久しぶりに再会できました(教え子)。市長は高校生のとき行進にも参加したとのこと。「原発反対を早く掲げたのでにらまれたけど、やっぱり三重につくらんでよかった」と、原発問題も話題に上がりました。
- 志摩市は市役所と阿児アリーナで原爆写真展を開くとのこと(7月～8月)。会場に署名用紙の設置をお願いすると、「子育て中のお母さんも多く来てくれるし、いいじゃないか」と快諾されました。持参した用紙は岡茂生活環境部長、阿尾隆雄人権啓発推進課長に托しました。協賛金は市長から、アピール署名は山下弘議長から預かりました。
- 終了後、参加者で話し合いをもちました。53年前、和具から平和行進を出発させ、海岸線に沿って北上した(落合)、合併前の志摩、大王、阿児、浜島など募金で回った(中井)、鳥羽、二見へ自転車パレードをした(樋口)など、志摩の地での反核・平和運動の歴史をふり返ることができました。地元でぜひ話し合いの場をもってほしい、県事務局も参加するからと、今後のお願いもして帰宅しました。(文責・田中)